令和３年度　生田高等学校 年間指導計画

教科・科目	芸術・書道Ⅰ	学年	1	教科書	「光村図書」 書Ⅰ
		単位数	2	副教材	なし

学習目標	1. 中学の書写の学習を基礎に、芸術としての書の表現と鑑賞の能力を育てる。 2. 古人の書を学習して、さまざまな書美を理解し、感性を磨く。 3. 毛筆の特性や技術を身につけ、楽しく自己表現をして、書を愛好する心情を養う。
学習方法	教科書を主として用い、ICTを活用した講義および作品制作による実習を中心とする。

学習評価

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	書への関心・意欲・態度	授業に積極的に参加し、主体的に活動する。
b	書表現の構想と工夫	感受性を豊かにし、独自のｱｲﾃﾞｨｱを、より芸術性の高いものにする努力をする
c	創造的な書表現の技能	創造的な表現をする為に、各々の課題に必要な知識や技能を育てる。
d	鑑賞の能力	くらしに生きる書や、自・他の作品を芸術的見地で深く観察・鑑賞する。

学期	内容のまとまり	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1学期	楷書の学習	4	・書表現の幅を広げる	テーマを創造し、自分のイメージを書で表現する	○		○	◎	・硯、墨、紙、筆の正しい使い方を理解し、感受性豊かな独自のアイディアを表現している。 ・古典の書美を理解し、書風の違いに関心を持って字形や用筆などの特徴を表現出来ている。	授業観察 提出作品 感想文 制作カード
		10	・九成宮禮泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑 ・牛橛像造記	臨書を通して古典の書美に関心を持ち、時代的背景や用筆法を理解する	○		◎	◎		
	創作	6	「一字書」	「うちわ」に渾身の一字を選び自分らしい表現で創作する楽しさを味わう	○		○	◎	・可能な限りの技能を使用して創造的な表現が出来ている。	
2学期	篆書の学習	4	泰山刻石の臨書	篆書の時代的背景や古典の臨書を通して、用筆の特徴を学習する(左右相称や等分間など)			◎	◎	・篆書の用筆・特徴を理解し整均の美の表現ができている。	授業観察 提出作品 感想文 制作カード
	隷書の学習	4	曹全碑の臨書	篆書を簡略化した実用書の隷書の特徴を捉え用筆を学習する			◎	○	・隷書の用筆・特徴を理解し蔵鋒から波磔に至る伸びやかな用筆の表現ができている。	
	創作の学習	8	漢字仮名交じり	好きな文章を皿に表現する。創作の楽しさを味う。友人の作品も鑑賞して、その良さを感じる	○	◎		◎	・漢字仮名交じりの書の創作の準備と手順を理解し、独自のアイディアを表現している。 ・自他の作品を芸術的見地で深く観察鑑賞し互いに意見交換できた。	
	行書の学習	8	蘭亭序の臨書	行書のリズムを身につけ、古典の臨書を半紙学習から条幅半切に仕上げる 全体構成から落款まで気配りする		○	◎	○	・古典の書美を理解し、書風の違いに関心を持って字形や用筆などの特徴を表現出来ている。	

3学期	仮名の学習	6	仮名の基本	仮名の成立を理解し、単体・連綿・和歌と学習する 仮名を料紙で仕上げる 平安朝仮名の書美を理解できたか		◎	○	◎	・仮名の基本用筆のリズムを生かして平仮名・変体仮名の字源、くずし方を理解し書くことができている。 ・連綿に気を付けて特徴を生かして書けている。	授業観察 提出作品 感想文 制作カード
		6	高野切第三種の臨書	仮名を料紙で仕上げる 平安朝仮名の書美を理解できたか				◎		
合計時数(50分授業)										